



FC岐阜

株式会社岐阜フットボールクラブ

取締役会長 宮田 博之 さん

連載Vol.

72

## 2022年明けましておめでとうございます

いつも皆様方にはFC岐阜を応援していただき、またファンクラブや後援会加入、更にスポンサーのお引き受けなどをいただき、心から厚く御礼を申し上げます。

2021年シーズンはコロナ禍2年目で、全国各地で第3波、4波、5波と猛威を振るって、感染者も増加の一途をたどりましたが、国、県、各自治体や病院関係者など一体の尽力でワクチン接種が急速且つ広範囲に行われ、また全国的な防衛体制のおかげで、10月中旬から感染状況は急速に好転しました。この間、大変厳しい入場制限下にありましたが、1試合平均入場者数は3,505人で、前年の2,644人を上回り、J3リーグではトップクラスの観客者数となり、ホーム最終戦には5,472人のお客様で応援をいただきましたことは誠にありがたく御礼を申し上げます。

しかし残念ながら、トップチームはJ2リーグ時代から下位に低迷し、J3リーグに降格後も2年続けて6位となり皆様のご期待に応えられない状況が続きましたことから、この度社長を辞任し、新任代表取締役社長には33歳のサッカー界を熟知した取締役GMの小松裕志が就任いたしました。今後は若き新指導者の元で監督や選手、スタッフが結束して何ともしもチームを上昇気流に乗せて昇格に挑戦して参りますので、何卒その進化の状況を直接スタジアムで見させていただいて応援して下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

一方、アカデミーではFC岐阜U-18に所属する石坂亮人選手がFC岐阜アカデミー初となる2022年シーズンからのトップチームへ昇格が内定したほか、FC岐阜U-15ではこちらもFC岐阜アカデミー初となる全国大会「第36回日本ユースサッカー選手権大会」に出場するなど明るい話題もございました。今後もトップチームに継続的に昇格できる選手を輩出できるようアカデミーの強化も図って参ります。

2022年シーズンには、さらに感染力が強いとされる変異ウィルスが全世界的に猛威を振るうことが予想されていますが、3回目のワクチン接種や新薬の開発、国民的自己防衛体制の徹底などで、社会生活や経済活動が止まらないことを祈るばかりです。

既に2年間の様々な制約社会の中で、スポーツを“する”、“見る”価値が一層高まっていると思いますが、そのために“集う”楽しみや喜びはネット社会の中で、我々の生活の一層の活力源になることが皆様の共通認識になることを念願しています。一層強いチームを皆様と共に目指し、イベントや飲食や出会いやトークを楽しむ“集い”になるようにしっかりと運営して参ります。

また、コロナ禍で42市町村様への選手達の応援大使活動は自粛してきましたが、今後はサッカーのみならず、幅広くSDGsをテーマとした様々な社会貢献活動に選手達も皆様と共に参加し、お互いに触れ合える機会を増やして身近なチームとして参ります。

2022年シーズンを『みんなのFC岐阜』『FC GIFU FOR EVERYONE』となるよう、皆様と共に頑張って参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



写真：©Kaz Photography/FC GIFU